

No.2577

伊吹山北尾根

日時：10日(日) (9日夜発)

参加：以倉(L)、右田、嶋原、岡本、佐々木(記)

以倉・岡本車、2台に分かれて国見峠駐車場を目指す。国見峠までは、滋賀県側からと岐阜県側から入る道がある。以倉車は、道・時間共にかかるが、道の状況が良いと思われる岐阜県側から入る(実際は、滋賀県側の道も問題無かった) <AM1:00>。先着の岡本車と合流し、我々だけのスペースにテントを張りゆっくり(一杯飲み)仮眠

天気予報に反して、夜間は大雨!。朝6時には雨は上がっていたが、山道はどんなものか心配である。テント撤収、先ずは国見山を目指して出発<7:10>。判りやすい一本道から入るが、朝から風通しの無いムシムシした山道は辛い。整備された道から所々にロープが張られた急登にかけると、苔むした石や粘土道は歩きづらい。国見山(1126m) <8:00着>は、低木に囲まれたピークであるが、切れ目から見える山並みと岐阜県側の街並みの眺めは綺麗である。

今回の北尾根は、登り下りを繰り返し4つのピークを歩き、ピストンする約8時間のコースである。一服して、次のピークに向かう。大禿山(1083m) <8:40着>、丸くて綺麗に禿げ上がったような山で、名は体を表すとはこの事である。伊吹山は、全体に白い石灰石の隆起した山のように、デコボコした石の連なりが歩きにくい。雲の切れ目には青空も見えるが、水補給が欠かせないようなドンヨリした空気である。御座峰(1070m) <9:20着>、まだ先は長い。いやになる程、先は長い。一本道、ここで腹を壊した嶋原さんと分かれて、先に進む!

静馬ヶ原(1120m) <伊吹ドライブウェイ10:55着>、ここからはドライブ道で、伊吹山頂上駐車場までは歩行禁止の看板あり(開山期間中は、ダメのようだ)。バスや乗用車が、ひっきりなしである。一服し、往路(3時間45分)を引き返す。御座峰への途中で、嶋原さんと出会い昼食。改めて伊吹山の眺めを楽しむ。御座峰<12:40着>、この北尾根は「大垣山岳協会」の方々が登山道を整備されたようで、立派な記念碑(1999年10月)がある。天気も回復し、往路に比べて足元がしっかりしていて歩きやすい。大禿山<13:15>、国見山<14:00>とこなし、やっとの事で国見峠に<14:45着>。復路も昼食も含めて、(3時間45分)。今日は(7時間30分)の歩行、お疲れさんでした!

帰りは、米原から混む事無く、ゆっくり帰阪。以倉リーダー、ありがとうございました。花の季節に、また来たいものです。



国見峠



フウロ



伊吹山とドライブウェイ